

FRANCHET のことである。 *Saussurea tunglingensis* CHEN, *Saussurea hsiaowutaishanensis* CHEN, *Saussurea peipingensis* CHEN, *Carduus hsiaowutaishanensis* CHEN 等の新名がある。

(北村四郎)

林 鎔氏：中國菊屬植物之研究 (Yong LING: Note sur quelques *Chrysanthemum* de la Chine in Contributions from the Institute of Botany National Academy of Peiping Vol. III (1935) p. 459—483).

本論文は家菊の起原は未だ発見されておらずといふ小生の論文を引用され支那の菊を分類したもので、分類の体系は小生の体系を採用してゐる。従来家菊の原種と考へられたもの即ち *Chrysanthemum morifolium* var. とか *sinense* var. とかを改めて研究しこれを種に引き上げてゐる。 *Chrysanthemum Maximowiczianum*, *C. vestitum* (小生は本年 *C. vestitum* KITAMURA を出したがこの論文が後程入手出来た。小生のは遅れてゐるから癢すべきである)。この外 *C. mongolicum* (蒙古), *C. argyrophyllum* (河南) *C. brachyglossum* (四川), *C. hwangshanense* (安徽), *C. Ledebourianum*, comb. nov. *C. alashanense* comb. nov. 等がある。家菊の原種は未だ不明であるといふ。(北村四郎)

緒方正資氏：日本羊齒類圖集 第七輯 M. OGATA: Icones Filicum Japoniae. Vol. VII. (July 20, 1936).

本種には次の 50 種が今までのものと同じ形式で圖説してある。

- | | | |
|----------------|------------------|-------------------|
| 301. ミモチシダ | 302. アミオホバコシダ | 303. ホコガタシダ |
| 304. フササジラン | 305. オホバムニンシダ | 306. アリサンスダレシダ |
| 307. ヒロハナヨシダ | 308. クハレシダ | 309. シロヤマシダ |
| 310. ワウレンシダモドキ | 311. ナチクジヤク | 312. キンマウキノデ |
| 313. オホカウモリシダ | 314. リヤウメンシダ | 315. ハルランシダ |
| 316. ムニンサジラン | 317. サジラン | 318. アリサンヘラシダ |
| 319. ヒメサジラン | 320. セイタカイハヤナギシダ | 321. イハヤナギシダ |
| 322. カニクサ | 323. タイワンカニクサ | 324. イリオモチシヤミセンヅル |
| 325. ムカゴシダ | 326. チャイロエビガラシダ | 327. ホランノブ |
| 328. ツルシダ | 329. ヒメエボシシダ | 330. タイワンクリハラン |
| 331. ヘビノキシノブ | 332. ダイブウラボシ | 333. タイワンウラボシ |
| 334. カナワラビ | 335. メヤブソテツ | 336. タイワンイタチシダ |
| 337. ホザキカナワラビ | 338. オニヤブソテツ | 339. ヒロハヤブソテツ |
| 340. アリサンフジシダ | 341. ハカタシダ | 342. ジフモンシダ |